

<健幸アンバサダー通信>



サルコペニアって ご存知ですか？



まずは /

チェック

こんなことありませんか？ チェックしてみましょう！

- よくつまずく
- 歩くのが遅くなつた

⇒実は！これに当てはまる人はサルコペニアが
始まっているかもしれません。
将来寝たきりになる可能性もあります。

■ サルコペニアってご存知ですか？

【サルコ】=筋肉 【ペニア】=減少

歳を重ねると筋肉が減ってきて、それに伴って筋力が低下したり
歩くための機能が低下することを言います。

しかも！ 筋肉は40代以降 年に1%ずつ減っていきます！

サルコペニアにならないためには、早いうちから

筋トレで筋肉をつけることが大切！



ちなみに…

筋肉をつけるには食事も大切

筋肉をつける食事で大切なのは
たんぱく質の多い食事（お肉・お魚など）

実は20代より70代の方が、たんぱく質を多くとらないといけないんです



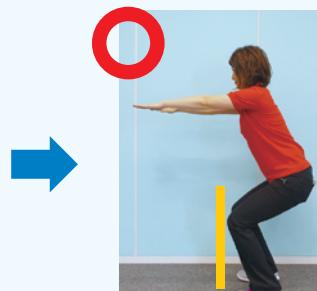
サルコペニアの予防に、おすすめの筋トレをご紹介します!

■ 「サルコペニア予防体操」をやってみよう !

各体操
10回が目安

【1】太ももの筋トレ

- ①両手を広げ、
両足を肩幅に開く



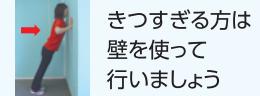
※内股・ガニ股にしない

- ②股関節から曲げるようにして
ゆっくり4秒かけてお尻を下に落とす

有酸素運動（足ぶみ） 30秒

【2】腕立て伏せ

足を閉じ、手を肩幅に広げ、机のへりを持ちます ※机が固定された安全な状態で行いましょう



きつすぎる方は
壁を使って
行いましょう



負荷が軽い方は
頭から足までを
まっすぐにして行いましょう

- ①そのままの姿勢で、体をゆっくり4秒かけて降ろす ②ゆっくり4秒かけて体を押し上げる

有酸素運動（足ぶみ） 30秒

【3】背中の筋トレ

※車輪などがついていない、動かないイスを使いましょう

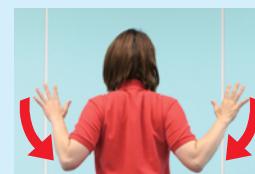


- ①2人1組でイスに座って脚を
肩幅に開き、向き合って両手
をそれぞれ握る

- ②そのままの姿勢で、
4秒かけて腕を手前に引く

- ③その姿勢を保ち、
4秒かけて腕をゆっくり伸ばす

<1人で運動をする場合>



- ①あごを少し上げ、姿勢を
まっすぐにする。両腕は
上の写真のように上げる

- ②4秒かけて肩甲骨を寄せる
ように、両ひじを下げる

- ③4秒かけてゆっくり
元の姿勢に戻す

有酸素運動（足ぶみ） 30秒

※運動前に急な痛みがある場合(痛みが出てから3日以内)は、行わないようにしましょう。

※慢性的に痛みがある部位がある場合、体調が優れない場合、血圧が高い場合等で、病院に通院している方は医師に相談の上で行い、病院に通院していない場合も無理をしない範囲で行いましょう。

※運動をしている最中に痛みが出た場合は運動をやめましょう。

厚生労働省 地域におけるインセンティブ情報ネットワークモデル構築事業 主催:スマートウェルネスコミュニティ協議会



本資料は、スマートウェルネスコミュニティ(SWC)協議会が認証しています

この通信は、健幸アンバサダーサポーター「30分健康体操教室 カーブス」が作成しています
お問い合わせは、カーブスインフォメーションセンターまで

0120-441-029

「健幸アンバサダー通信を見た」と伝えるとスムーズです

株式会社カーブスジャパン 東京都港区芝浦3-9-1 芝浦ルネサイトタワー11F

